

令和元年度 健康増進部の経営方針

健康増進部長 荒崎 成治

1. 健康増進部のめざす姿

市民が健康でいきいきと暮らせるように、適切に医療が受けられる環境と健康の保持・増進を推進するための施策が提供できている。

- ①安心して医療や健(検)診を受けられる環境が提供できている。
- ②医療保険制度を円滑に運営できている。
- ③多くの市民が積極的に健康づくりに取り組んでいる。

2. めざす姿に向けた指標 (KGI・重要目標達成指標)

指標	H29 実績	H30 実績	R1 目標	R2 目標	R3 目標	R4 目標
○市内の医療環境に満足している市民の割合	48.3%	53.4%	55.1%	56.7%	58.4%	60.0%
○妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している母親の割合	81.1%	84.3%	85.0%	85.7%	86.3%	87.0%
○健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合	67.6%	73.5%	75.1%	76.8%	78.4%	80.0%
○国保被保険者一人当たりの医療費	317千円	325千円	332千円	340千円	348千円	356千円
○胃がん検診の受診率 (健康づくりについてのアンケート調査値)	38.8%					50.0%
○ 同上 (保健センターが実施する検診・人間ドック)	3.9%		4.3%	4.5%	4.7%	5.0%

3. 現状と課題 (昨年度の振り返り)

- 健康づくり・健診事業や福祉医療等において、データや根拠に基づく事業の組み立てに取り組んでいるが、まだ十分であるとは言えない。
- 健康づくりや予防にウエイトを置いた国の施策に合わせて事業を構築する必要がある。
- 健康まちづくりに向けた取り組みをプロジェクトチームで検討しているが、限定的な内容に留まっている。
- 働く職員の満足度の向上に向けて、引き続き取り組む必要がある。

4. 健康増進部の重点目標

- データや根拠に基づく企画立案をさらに進めて施策に反映させ、効果のある内容・方法で市民に提供する。
- 健康づくりや保健事業において、部内や他部とのデータ共有・活用及び連携による事業実施に向けた取り組みを進める。
- いきいき健康プロジェクトにおいて、庁内横断的な施策展開に向けた取り組みを進める。
- 職員がそれぞれの立場で、的確なマネジメントと進行管理により、事業や業務を効率的かつ効果的に進める。
- 事務や事業に工夫や見直しを加えることで、労働時間の適正化と職場環境の改善を図る。

5. 重要目標の達成に向けた具体的な取組み

①	細事業名	乳幼児等・こども医療扶助事業	担当課	医療助成・年金課
	具体的な取組項目	自己負担額や所得制限のあり方などをデータに基づいて分析・検討し、制度の再構築を図る。		
②	細事業名	(国保)特定健康診査・特定保健指導事業	担当課	国民健康保険課
	具体的な取組項目	特定健診等の受検率を向上させるための方策について、現状や効果をデータに基づいて分析し検討を進める。		
③	細事業名	健康づくり事業/健幸マイレージ等推進事業	担当課	健幸政策課
	具体的な取組項目	スマートウェルネスシティの実現に向けた、分野横断の施策展開シナリオを作成する。		
④	細事業名	健康診査事業	担当課	健幸政策課
	具体的な取組項目	中学生のピロリ菌検査について、事業効果を検討し、導入に向けた取り組みを進める。		
⑤	細事業名	(国保)徴収対策事業/(後期)徴収事業	担当課	保険収納課
	具体的な取組項目	現状及び効果分析に基づいた滞納対策や納めやすい環境づくりなどを進め、収納率を向上させる。		
⑥	細事業名		担当課	
	具体的な取組項目			
⑦	細事業名		担当課	
	具体的な取組項目			
⑧	細事業名		担当課	
	具体的な取組項目			
⑨	細事業名		担当課	
	具体的な取組項目			